

第13回水俣病事件研究交流集会  
2018年1月7日

水俣学研究センター戦略的研究基盤形成支援事業2期目の中間報告

第3プロジェクト  
水俣学アーカイブスを通じた  
知の集積と国際的情報発信拠点の形成

熊本学園大学水俣学研究センター  
井上 ゆかり

水俣病の経験を将来に活かした地域構想と  
国際的情報発信のための水俣学研究拠点の構築



**プロジェクト1**  
水俣病被害の多面性に着  
目した問題解決のための  
包括的研究

**プロジェクト2**  
環境負債を克服し地域再構築にむ  
けた評価および民主主義的合意  
形成をめざす社会的実証研究

国内外の研究者・被害  
者・市民の参加

資料収集

資料収集

熊本学園大学水俣学研究センター

**プロジェクト3**  
水俣学アーカイブスを通じた知の集積と国際  
的情報発信拠点の形成  
水俣学研究センター所蔵資料DB  
水俣学アーカイブ



# 水俣学研究センター所蔵資料データベース

## 水俣学研究プロジェクト

1999年 原田正純先生の提唱で本学に「水俣学研究プロジェクト」が立ち上げられ、本学の社会福祉研究所に水俣学資料室をおき、これまで訴訟関連資料・行政資料や研究文献の収集にあたってきた。

## 水俣学に関連した講義開講

2000年 学部授業で福祉環境学入門を開講

2002年 学部授業で水俣学講義を開講

授業は、当センターHP上でライブ中継している

## 研究拠点設立

2005年4月、熊本学園大学(熊本市)に水俣学研究センターを設立

2005年8月、水俣市内に水俣学現地研究センターを設立

新日窒労組旧蔵資料の整理を組合OBとともに開始

## 各PJ調査で得た資料を集約

## 各資料群をDB化・公開

2009年度 新日窒労組旧蔵資料の閲覧公開・文献資料目録をHP上で公開  
全国資料巡回展・シンポジウムを行い情報発信

2012年度 新日窒労組旧蔵資料に写真資料と物品資料をHPで公開  
HP上で「映像でみる新日窒労組の歴史」を公開

2013年度 水俣病研究会蒐集資料、宮澤信雄旧蔵資料、最首悟旧蔵資料の文献資料目録をHP上で公開

2014年度 浜元二徳旧蔵資料の文献資料目録をHP上で公開

2015年度 「水俣学アーカイブ」をHP上で公開

# 水俣学研究センター所蔵資料データベースの全体像

## ○公開している資料群(概要 <http://www3.kumagaku.ac.jp/minamata/shiryo/syozou>)

- 新日窒労組旧蔵資料: 文献資料6225点、写真資料63600点、物品資料533点
- 水俣病研究会蒐集資料: 文献資料20340点、写真資料350点(概数)
- 宮澤信雄旧蔵資料: 文献資料962点
- 最首悟旧蔵資料: 文献資料318点
- 浜元二徳旧蔵資料: 文献資料133点、物品資料20点
- 松本勉旧蔵資料: 文献資料1185点、音声資料507点うち3点をデータ変換し目録上で視聴できるシステムを構築、2018年3月映像資料42点公開予定
- 鰐淵健之旧蔵資料: 文献資料128点
- 馬場昇旧蔵資料: 文献資料730点
- 堀田宣之旧蔵資料: 文献資料521点を2018年3月に公開予定

## ○目録化を進めている資料群

- 深井純一旧蔵資料
- 名古屋水俣病を告発する会収集資料



## 新日窒労組旧蔵資料 写真目録化作業

現地密着型プロジェクト  
水俣病事件史のまっただなかを  
生きてこられた方々に  
資料整理をしていただく



# 一枚の写真にこれだけの情報を盛り込む理由

新日産労働組合写真資料カード

フィルム 番号	11-7-5	コマ番号	5-32
事件日	昭・平 年 月 日	現像日	昭・平 19 年 2 月 3 日
拠点名		撮影者	小川 康 敬
		種別	ウイロ 7-7
タイトル	1922 春斗並に日闘斗甲古接 大会後ッデモ行進		
撮影地	21-4 (東神町) 21-12 (西神町) 15-22 (東神橋) 23 (東神町) 20-22 (東神町)		
人物	21-22 (東神町) 22 (東神町) 22 (東神町)		
主題別 索引	テニ行進		
備考	14.7.明		
カード 作成日	平成 26 年 2 月 7 日	カード 作成者	緒方 小形 徳永 ( )
入力日	平成 年 月 日	入力者	

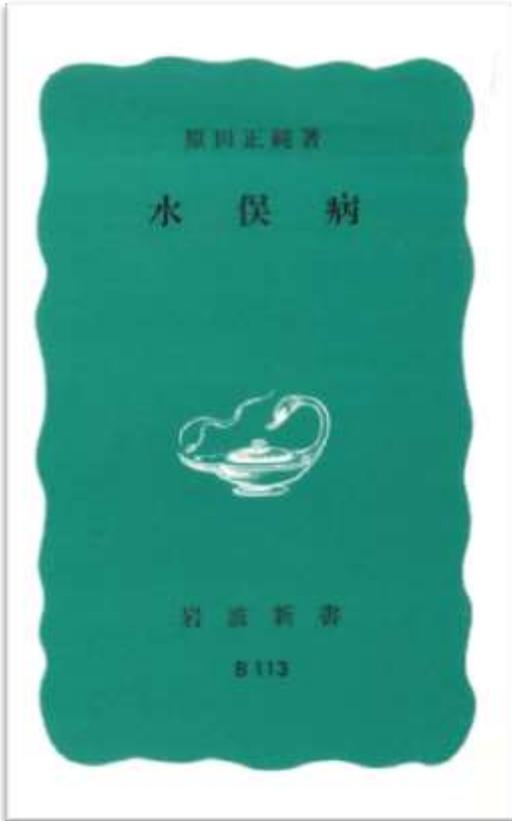


# 水俣学アーカイブ

## 6つのコンテンツ・11のテーマを作成

1. 証言：患者証言、共に闘う
2. 歴史：水俣今昔、時空でたどる新日窒労組、水俣略年表
3. 自然：海辺の物語
4. 教育：伝える子どもたちへ、現場をさるく、学校の現場から
5. 記録：新日窒労組8mmグループ
6. 未来：失敗の教訓を活かす

# 水俣学アーカイブ作成の出発点



第1刷:1972年  
いまだ「水俣病とは何か」が  
争われ  
認定基準は1977年以降見直  
されず  
「知識」はつねに「固定化」へ  
の惰性が内在すべき

・これまでテレビや映画で繰り返し流されてきた  
**急性劇症型水俣病の「記憶の集積」**

→「**あれが水俣病**」

水俣の外から・水俣市民も・そして被害者自身もそう  
思い込んできた

→「慢性水俣病の被害実態」と隔たり

→「ニセ患者」発言

・2017年1月22日県内であったスポーツ大会で県  
内小学生が水俣の小学生に「水俣病がうつる」

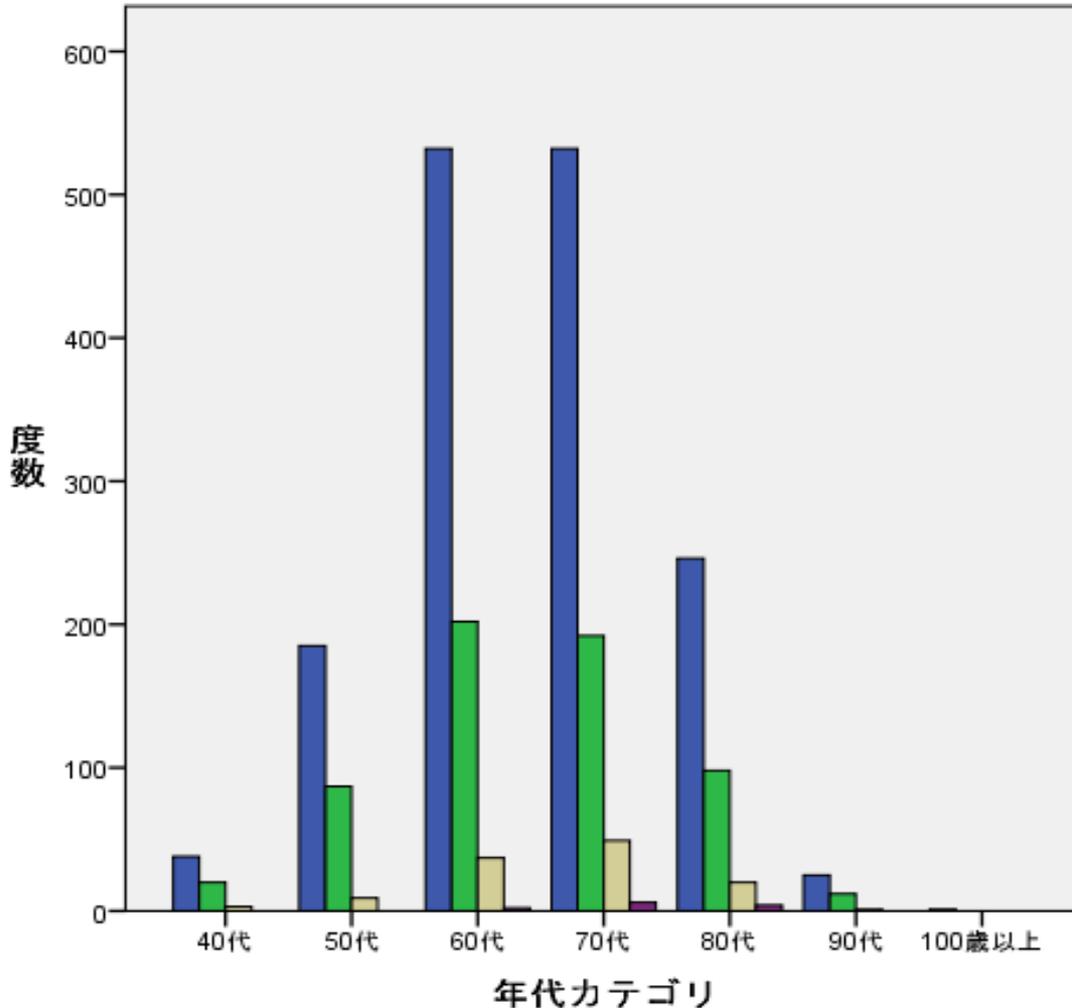
・認定された患者自宅に「患者のふりして」匿名  
電話

→「あそこまで酷くない」「あの水俣病ではない」

⇒水俣病の「病い」の「実相」さえ、「伝える手段  
を再生する段階」で**再検討されないまま流されて  
いるため記憶の「ゆがみ」が生じている現状**

# 朝日新聞社との「水俣病公式確認60年アンケート」 水俣病の経験を次世代に伝えるべきか

棒グラフ



⑨水俣病の経験を次世代に伝えるべきか

- 伝えるべきだ
- どちらかといえば伝えるべきだ
- あまり伝える必要はない
- まったく伝える必要はない

2016年3月実施

回答者数2619サンプル

この質問への有効パーセント

伝えるべき: 67.4

どちらかといえば伝えるべき: 26.7

あまり伝える必要はない: 5.3

まったく伝える必要はない: 0.6

欠損値0

上村好男さん 【一次訴訟原告家族、水俣病互助会会長】

場所 水俣市月浦 収録日 2014-10-16



ショート

ロング

動画を観ただけがない場合はこちらから最新のFlashプレイヤーをインストールしてください。  
MacOSのSafariをご利用の方は、こちらからFlashプレイヤーの「ハードウェアアクセラレーション」を無効後、ページを再読み込みしてください。

関連マップ



上村好男さん 【一次訴訟原告家族、水俣病互助会会長】

1934年鹿児島県に生まれ育つ。1953年から水俣市で就業しその後結婚。56年に長女が誕生。1962年に長女の智子さんが胎児性患者として認定される。1969年に一次訴訟原告の家族として提訴し73年に勝訴。自身は医療手帳を取得。現在、水俣病互助会会長。上村さんは、チッソの子会社である酪農運輸（現センコー）に勤務しながら、妻と智子さんとともに7人の子供を育てた。智子さんの人生と水俣病の経験をおして、いのちの大切さ、企業社会の罪の深さを訴えられている。

# 「患者証言」を作成するにあたり注意したこと

「実相」に迫る

→何らかの形で表現しようとする、**実相との間に差異**が生じる可能性

→映像編集は、**意味づけ**を行わなければならない

「実相」とは何か

→認定された方のみが患者ではない

→認定されていない「何らかの有機水銀の影響がある」とされた人

→原田正純先生の環境病跡学

編集した証言映像は、運営委員で確認後

→本人に見ていただき必要時修正

→「使用公開許可証」に署名していただく

# 水俣今昔



現在、水俣市内及び周辺地域には、水俣病の歴史を記す案内看板は百間排水口と観水護岸にしかありません。水俣病はチッソが長年にわたり排出した汚染水のために埋め立てられ、地元においてさえ、その場に立っても水俣病事件の記憶を辿ることが難しくなっています。水俣病の教訓を活かすには、水俣病が発生した当時から現在にかけての土地の歴史（記憶）を知る必要があります。水俣の過去から現在にかけての変遷を体験していただくために「水俣今昔」を制作しました。

水俣今昔では、熊本学園大学図書館に所蔵される江戸時代後期の絵地図と明治、昭和、現在の地図を重層的に閲覧することができ、地図上に各水俣市街地の昔と今の写真をマッピングし、各土地の歴史説明を加えることで「水俣の土地の記憶」を辿っていただけます。

写真は、6万点に及ぶ1960年代に撮影された新日堂労働組合資料の写真資料のなかから水俣市街が写されていたものを選定し、ほぼ同じ地点で撮影した現在の水俣市街地が比較できるように工夫しています。

条件から探す

キーワード  選択して下さい  年代  年代  地域  地域

フリーワード



チッソ水俣工場西側



チッソ水俣工場と市内全景



大園町



新四つ角



年末の大園町



中尾山のテレビ塔

< 前へ 1 2 3 4 5 6 7 8 次へ >

# 水俣今昔



## チッソ水俣工場と市内全景

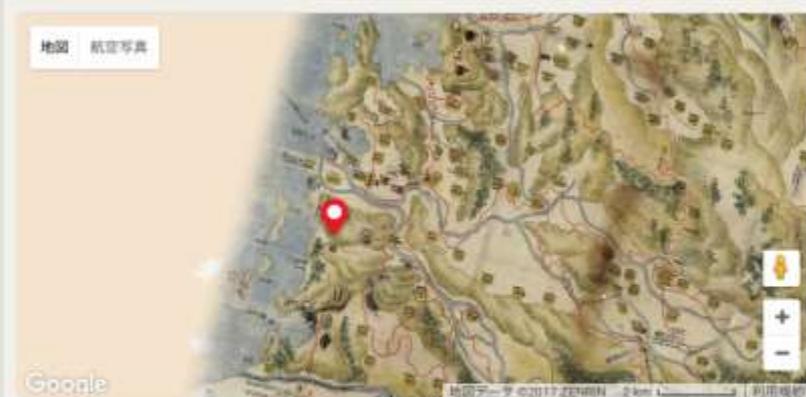


撮影日 1962年11月13日

住所 水俣市山手町2丁目



山手町山上から見たチッソ水俣工場の全景。あちこちの煙突から煙がたなびいている。



現在 明治時代 江戸時代

出典

江戸時代 「豊北郡地図」熊本学園大学附属図書館所蔵、江戸後期

明治時代 「熊本、明治 日本国勢地図」柏書房、熊本学園大学附属図書館所蔵、1983年

# GoogleアナリティクスでみるHPのページ別閲覧状況

ページタイトル	ページビュー数	ページビュー数 (%)
1. トップページ   水俣学研究センター   熊本学園大学	711	15.37%
2. 水俣今昔   水俣学アーカイブ   水俣学研究センター   熊本学園大学	257	5.55%
3. 資料室利用   水俣学研究センター   熊本学園大学	130	2.81%
4. 水俣学アーカイブ   水俣学研究センター   熊本学園大学	112	2.42%
5. 水俣略年表   水俣学アーカイブ   水俣学研究センター   熊本学園大学	111	2.40%
6. データベース   水俣学研究センター   熊本学園大学	106	2.29%
7. 研究員一覧   ご案内   水俣学研究センター   熊本学園大学	99	2.14%
8. 水俣学通信   水俣学研究センター   熊本学園大学	93	2.01%
9. 水俣病公式確認60年国際シンポジウム「カナダ先住民の水俣病と水銀汚染」のご案内   水俣学研究センター   熊本学園大学	89	1.92%
10. 水俣学講義   講座・セミナー   水俣学研究センター   熊本学園大学	87	1.88%

2016.11-2017.1の3ヶ月分

# 水俣今昔



This chronology shows a history of the Minamata area regarding Minamata disease from the Meiji era to the present. Each item/event is given a reference to its source.

## Umedo port - 1



Date Sept. 17, 1962

Address 1-chome, Umedo-cho, Minamata



Chisso built a coal-fired power plant at Umedo port in 1930. It was operated to provide a reserve of electric power or as supplementary power. In 1955, the electricity generation was stopped due to the age of the components. Since then it had been converted to a steam only power plant, but later the heavy fuel oil power plant was built in 1965. The pipelines for the heavy oil from the power plant and the factory, approximately 2.3 km, can be seen.



Present Meiji Era Edo Era

### Reference sources

#### The Edo Period:

The Picture Map of Ashikita-gun in the Edo era (the late Edo period). Collection of Kumamoto Gakuen University Library.

#### The Meiji Period:

The Japanese National Atlas at the end of Edo Period and in the Meiji Period (1983). Collection of Kumamoto Gakuen University Library. Kazuho Shobo.

[Back to the previous page](#)

### Abbreviations of reference sources

#### AC: Ayumi Chronology

The Editorial Committee of the Shin Nippon Chisso Labor Union's photo collection (Jan. 2006). The 59-year Footsteps of the Shin Nippon Chisso Labor Union We Created and Battled

#### KB: Kukaku Binran

Kumamoto Women's College Research Institute of Regional Culture (1985). Shirakawa-ken ka Kukaku Binran (Handbook Zoning in Shirakawa-ken). Collection of History of Kumamoto prefecture No. 3

#### Kumanichi: Kumamoto Nichinichi Shimbun (Newspaper)

Kumamoto Nichinichi Shimbun Co., Ltd.

#### CH: City History

Minamata city (Oct. 1991). New History of Minamata City

#### SH: Short History

Takamine, Takeshi (March, 2008). Short History of Minamata Disease. Booklet of Minamata Disease No.6, Kumamoto Nichi Nichi Shimbun Newspaper

#### GS: General Survey

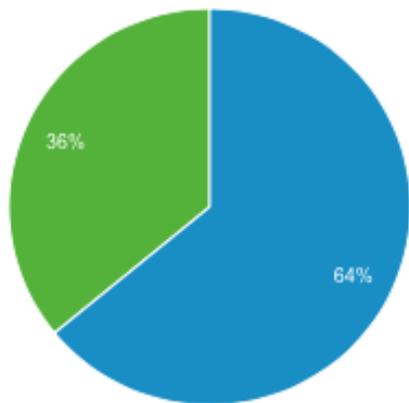
General Survey of Shin Nihon Chisso Hiryo Projects (July, 1937). The New Japan Nitrogenous Fertilizer Company (Nippon Chisso Hiryo K.K.)

#### CMD: Chronology of Minamata Disease

Arima, Sumio (Jan. 1979). Minamata Disease The 20-year Study and Assignment Today about Minamata Disease, Seirinsha

- |      |         |  |
|------|---------|--|
| 1874 | Aug.~   | The area of Minamata city later belongs to the 9th, the 10th, and the 11th subprefecture according to the revised the zoning system of administrative districts.<br>KB CH vol. 1 p. 498  |
| 1895 | —       | Minamata-mura holds 2,543 homes, 379 trade/service industries, 222 industries, 27 eateries and 84 fisheries.<br>CH vol. 1 p. 648   |
| 1908 | Aug. 20 | Nippon Chisso Hiryo K.K. (hereinafter referred to as Nitchitsu) builds a factory of lime nitrogen (for the production of carbide) in Minamata-mura owing to the attraction of enterprise by Nagayoshi Maeda and others.<br>CH vol. 1 p. 649, GS p. 433 |
| 1909 | Nov.~   | The downtown Minamata-mura has electricity and the lights are turned on.<br>CH vol. 1 p. 649   |
| 1910 | —       | The salt monopoly system started and the government promoted abolishing salt farms because of their low productivity. The salt industry in Minamata closed.<br>CH vol. 1 p. 649  |

■ New Visitor ■ Returning Visitor



国	セッション	セッション (%)
1.  Japan	1,205	97.81%
2.  United States	7	0.57%
3. (not set)	7	0.57%
4.  Switzerland	3	0.24%
5.  Germany	3	0.24%
6.  Thailand	3	0.24%
7.  India	2	0.16%
8.  Canada	1	0.08%
9.  Philippines	1	0.08%

市区町村

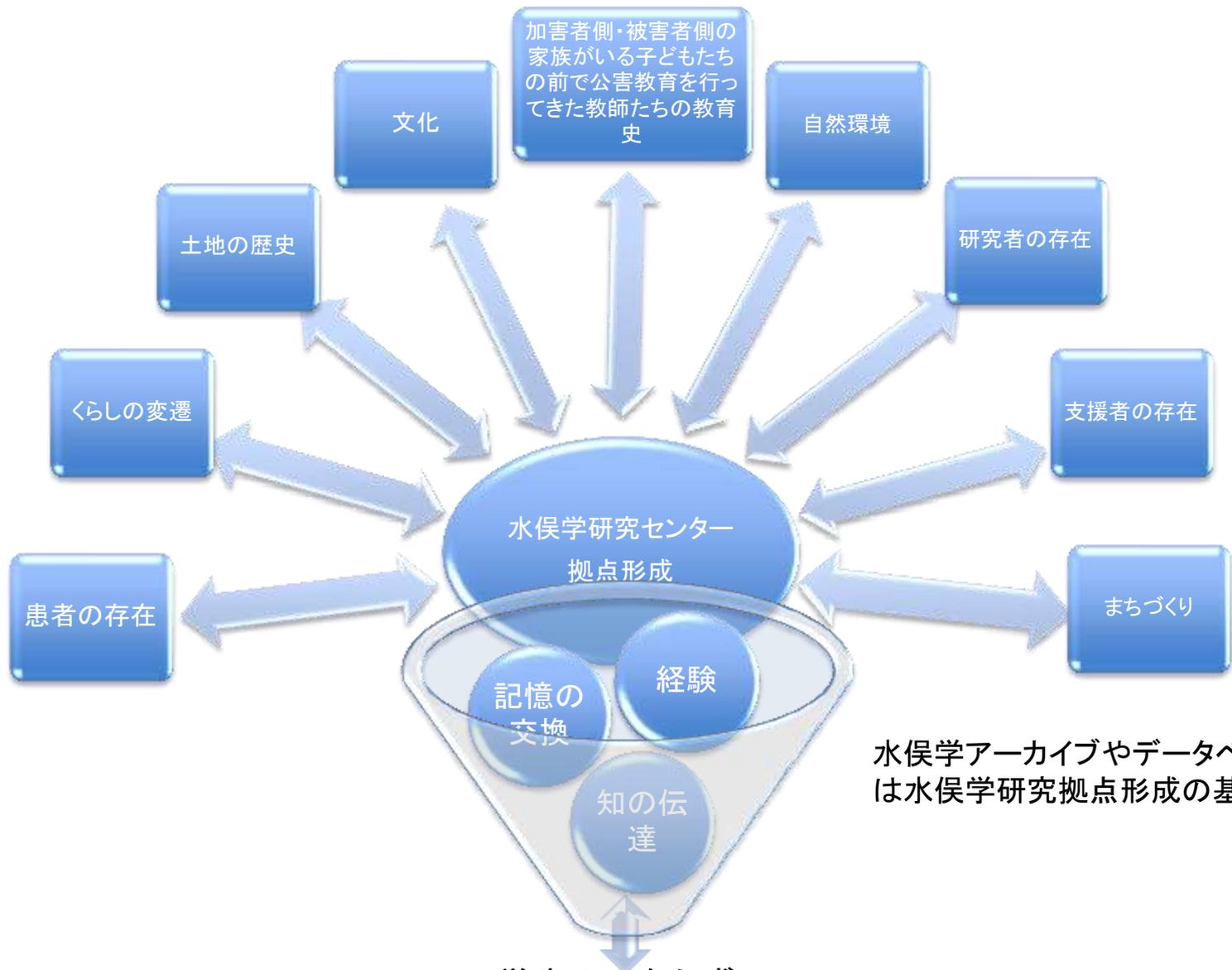
セッション セッション (%)

1. Kumamoto	355	28.81%
2. Osaka	112	9.09%
3. Fukuoka	77	6.25%
4. Nagoya	69	5.60%
5. Shinjuku	60	4.87%
6. Minato	52	4.22%
7. Yokohama	50	4.06%
8. Kyoto	26	2.11%
9. Chiyoda	20	1.62%
10. Shibuya	19	1.54%

# GoogleアナリティクスでみるHPの平均ページ滞在時間

ページタイトル	ページビュー数	ページ別訪問数	平均ページ滞在時間	閲覧開始数	直帰率	離脱率
	4,627 全体に対する割合: 100.00% (4,627)	3,249 全体に対する割合: 100.00% (3,249)	00:01:06 ビューの平均: 00:01:06 (0.00%)	1,232 全体に対する割合: 100.00% (1,232)	53.17% ビューの平均: 53.17% (0.00%)	26.63% ビューの平均: 26.63% (0.00%)
1. トップページ   水俣学研究センター   熊本学園大学	711 (15.37%)	506 (15.57%)	00:00:47	451 (36.61%)	32.82%	30.38%
2. 水俣今昔   水俣学アーカイブ   水俣学研究センター   熊本学園大学	257 (5.55%)	135 (4.16%)	00:00:23	14 (1.14%)	7.69%	3.89%
3. 資料室利用   水俣学研究センター   熊本学園大学	130 (2.81%)	52 (1.60%)	00:00:52	6 (0.49%)	0.00%	3.08%
4. 水俣学アーカイブ   水俣学研究センター   熊本学園大学	112 (2.42%)	65 (2.00%)	00:00:36	7 (0.57%)	14.29%	3.57%
5. 水俣略年表   水俣学アーカイブ   水俣学研究センター   熊本学園大学	111 (2.40%)	92 (2.83%)	00:03:02	64 (5.19%)	73.85%	62.16%
6. データベース   水俣学研究センター   熊本学園大学	106 (2.29%)	76 (2.34%)	00:01:18	5 (0.41%)	20.00%	21.70%
7. 研究員一覧   ご案内   水俣学研究センター   熊本学園大学	99 (2.14%)	77 (2.37%)	00:02:45	45 (3.65%)	73.33%	58.59%
8. 水俣学通信   水俣学研究センター   熊本学園大学	93 (2.01%)	20 (0.62%)	00:00:16	0 (0.00%)	0.00%	1.08%
9. 水俣病公式確認60年国際シンポジウム「カナダ先住民の水俣病と水銀汚染」のご案内   水俣学研究センター   熊本学園大学	89 (1.92%)	81 (2.49%)	00:03:09	16 (1.30%)	100.00%	62.92%
10. 水俣学講義   講座・セミナー   水俣学研究センター   熊本学園大学	87 (1.88%)	72 (2.22%)	00:01:10	46 (3.73%)	60.87%	51.72%

2016.11-2017.1の3ヶ月分



水俣学アーカイブやデータベース作成は水俣学研究拠点形成の基底

学生のみならず、  
世界や県外の人々、水俣市民、被害者、  
そして次世代へ伝える

# 課題

- ・データベースやアーカイブを閲覧した人がどのような評価をするか、それを得るための方法を検討する必要性
- ・一次訴訟を経験した患者さんは80歳代、編集映像の確認をいそがなければならない
- ・写真の整理に携わる組合OBの方々は、若い方で70歳代  
→1枚の写真を資料として次世代に残す
- ・水俣学アーカイブとデータベースの充実と重畳的構築
- ・横断検索の検討



朝日新聞 朝刊2014.12.13



熊本日日新聞 朝刊2014.12.13